

- (1) 募集期間 令和5年8月8日（火）～9月7日（木）
 (2) 意見提出 26名（うち匿名1名）
 ※郵送14名、電子メール3名、ながの電子申請1名、持参8名
 (3) 意見件数 22件

《意見1》

1. 保育所の経営を民間の事業者に移した方が良いという考えもあるようですが、民間で行うとどうしても営利が目標になって、幼児の保育・教育が二の次になりやすいので、反対である。
2. 昼の給食サービスも、小学校の場合もそうですが、上述した通り、民間事業者に委託すると、営利目的が前面に出て、子供の健康上の観点からの栄養を重視した点が、おろそかになりはしないか、心配である。
3. 以上の点から、保育所経営はあくまでも市の責任で考えるべきです。

《意見2》

1. 自園の給食で地域の食の文化を知り、広々とした園庭で思い切り遊び、みんなに守られて豊かに育つ子ども達。「いいよね。公立保育園が沢山あって。親も安心して働けて。」知り合いに言われた長野県中野市。国の方針だからといって、又、お金がないからといって、子ども達に背を向けてしまっているのでしょうか。次世代を担う子ども達を育成する大切な仕事、子育てを支援する大切な仕事は、やはり行政にやって欲しいと切に思います。
2. 民間保育所の大変さは良くわかります。子どもの育ちを中心に据えた強い思いがあるから赤字になってもひよこ保育園は頑張れるのだと思います。民間保育所（ひよこ、みらいく等）の実態調査もお願いしたいです。

《意見3》

1. 高丘保育園の新築は、長年の懸案でもあり、関係機関も求めていたものであり、賛成です。ただ、運営の民営化については、改めて市民説明会や当保育園の保護者説明会議事録を読んでも不安が拭いきれずにおり、また明確な民営化賛成論は皆無だったとも思います。課長が平野保育園保護者会で「…民営化にするという方針をお示ししたところ…」と述べられておりますように、私共もその方針をお聴きした程度の認識でおります。
 いわゆる“高丘的”な意見集約はどのようにしていかれるのか不明確です。そこを素通りしたまま民営化に突っ走られるなら、“待った”をかけたい。審議会の審議前に、市としてさらに民意を汲みとるべく再説明会を求めます。
 7日に認定子ども園の資料を付して審議会へ諮問されたようですが、このことについて両説明会とも、ほとんど触れられていないように思います。保育所運営を「公立」「私立」「認定こども園」に舵をきる大事な節目ではないでしょうか、再説明会を求めます。

民間保育所の切々たる実態については、市民説明会でよくわかりました。公立保育園の全保育士アンケートを実施するとも言われました。再説明会で、その内容と結果を公表してください。民営化賛否の一助にしたいと思います。
以上により、再度の説明会を切に懇請します。

《意見4》

1. 保育はきわめて重要な公的責任の求められる分野です。もちろん私的な経営の存在を否定するものではありませんが、行政が全てを私的経営に変えるということは断じて反対です。例えば、小・中・高・大も私立するし、それなりの意義はあると思います。それでも公的な学校があり行政が国民の声を汲みながら存在していることの意義は絶大です。行政の側からの民営化推進は反対します。

《意見5》

1. (市民説明会に出席した者です。)老朽化に伴い保育園の建て替えは納得しますが、財政負担と民営化をセットにして進めようとしているようで凄く、違和感を感じます。民設民営については、中野市に「ひよこ保育園」という民設民営のモデルになる園があります。運営の状況を聴きながら、実情を明確にして皆様にお伝えしていく必要があるのではないのでしょうか。

地方財政は、中野市に限らず、厳しいと思われまます。

ガイドブックから中野市は他市に比べて私立保育園が少ないと記されていましたが、公立保育園は市民の税金で、かつて、先人たちにより建てられたもので、むしろ誇るべきものです。(公、私)の保育園の数を比較するのではなく、他市で計画的に(須坂市)で建て替えをされている所があります。そういうところを大いに学ぶべきです。

公立をしっかりと守っていくことで民間が成り立つのだと思います。説明会では、保護者、市民の声を聴いて、様々な意見や、課題があがりました。

市として、さらに民意を汲み取るべく再説明会をする責任があると思います。さらに、市民説明会では触れられてなかったと思いますが、認定子ども園のことが浮上しています。一連の計画にあるならば、隠しごとはやめましょう。早急に、再説明会を開き、内容と結果を公表してください。

※意見の内容は市民の率直な意見であり何故、確認が必要なのか疑問です。

《意見6》

1. もっと多くの市民、特に子育ての方への説明会を多く開き、納得を得るべく努力をするのが前提だが、「民営化」は子どもの命を危険にさらす愚策だと言わざるを得ないので、絶対に反対である。更に「民営化」で市の財政負担を減らし、企業の利益を優先させるものと考えざるを得ない。やめてください。

《意見7》

1. 民営化は反対します。子ども達が安心して過ごせる保育であってほしいと思います。

《意見8》(同様の意見5名)

1. 民営化反対。

《意見 9》

1. 子供達の育ちを金もうけ（民営化）の道具にしては絶対にいけないと思います。

《意見 10》

1. 決まってしまったことで残念です。民営化には絶対に反対です。私達の税金で保育所が民営化すれば利益優先しないとやっていけません。働いている職員、通っている子供さん、親などの意見をきき、働きやすい、子供にとって安全で、親が安心してまかせられる保育所が必要です。やっぱり民営化と決める前に広く知らせ、みんなの意見をとり入れた保育所をつくってほしいと思います。

《意見 11》

1. 何の情報も無いまま、ちょっと一方的に進めて行こうとする姿勢に大きな疑問を感じます。納得出来る説明を詳しくお願いします。

《意見 12》

1. 早急に決めないで、もっと市民のみなさんとよく話し合ってもらいたい。いつもそうだが、会場を決めてそこに来ない人が悪いような言い方をされた事があるので、今回はもっと丁寧にやってほしいと思います。

《意見 13》

1. 民営化には反対です。保育は市、地方自治体の重要な中心的な任務と考えます。子ども家庭庁の発足に遂行するものではないでしょうか。

《意見 14》

1. まず市民に対し説明不足が一番感じます。子どもの育ち、人間の初めて出会う集団での育ち合いを保障する市の責任をどう思っておられるのでしょうか。
2. 公立から民間へと大きく中野市の保育を変えようとされるのなら、ゴミ有料化問題の時のように各地域に出向き、丁寧に説明され、意見を聞く姿勢がほしい。なぜならば、保護者のニーズに応えるという場合、公立か民間かどちらを選ぶかの場合、必ずしも地域の保育所とはならず、中野市内どこでも選べるとなり、地域性が崩れる恐れがある。各地域での説明を今の平野・高丘に限らず、保護者（未来のも）が希望しています。
3. 財政的問題が主になり、子どもの育ち中心に考えられていない。
4. 民間企業が参入した場合、営利主義となり、廃園、撤退、ニュースにある各種事故など心配される。
5. あくまで、中野市の未来を担う子ども達の育ちをより良いものにするために、市が責任を最後までもち、民間委託はしないでいただきたい。切に願います。

《意見 15》

1. 中野市は子育てにやさしいと広告されているが、子育てを外注にするというのは、不安を感じる。小学校の給食もしかり。子育てに注力するのであれば、予算をしっかり組み、中野市の管理でやってほしい。

《意見 16》

1. 子供を安心して産み育て、おなかいっぱいごはんが食べられてきちんと教育を受けられ

る、最低限こんなことができなくて先進国と言えるでしょうか。国の施策に反対したら補助金などが減らされる心配しているのでしょうか。そんなことはしないと思います。そこまで野蛮な国ではないと信じたいです。民営化することで、今までかかっていた運営費（税金）の今後の使途を明確にしてほしいです。

《意見 17》

1. 何年か前に保育所の民営化のことは聞いていたが、全く情報がないまま広報なかの8月号で突然の方針決定を知って驚いた。私は新聞を取ってないのでこの間の情報が無かった。こんな大事な事を一方的に決められたと強く感じている。知り合いの若い人に聞いても「知らないです。毎日の生活に追われ疲れていて情報集めなんて無理」と答える人が多いです。なぜ、税金を払っている市民に税金の使い道を決めさせてくれないのでしょうか。保育所2園の民営化は今までの方向とは大きく舵を切る重大な問題です。市民全体で決めることなのに、対象地域だけの、しかも1回だけの住民説明会ではあまりにずさんな対応です。何回も説明会をして話し合って市民全体の合意をする必要があると思います。

2. 建物の老朽化への対応を早急に

建物は建てたときに次の建て替え時期はわかっているはずですが。私たちだって自分の家を建てるときは計画を立てます。市は計画をしないできたということでしょうか。または、計画をしなくとも財政的には対応できると判断してきたのでしょうか。

3. 民間活力による質の向上、多様性

私達市民が望んでいる保育園はまず子供にとっても保護者にとっても安全で安心できる保育所です。民間活力で質の向上とはなんとも情けない、市立では質の向上ができないということですか。認めてもらえない加配が年々増えていると聞きます。市の持ち出しも増えていると思いますが、民間はそれを受けるのでしょうか。対象の子供を受け入れないのではないですか。

民間は運営上黒字でないと倒産か撤退する性格のもので。現に私の孫は長野市に住んでいてこども園を利用しています。通園バスがあるので選んだそうですが来年は人手不足と経営面で廃止が決まったと悩んでいます。多様性？親に金を払えということですよ。物価高、低賃金であえいでいる若い人たちの子供にはどう対応するのでしょうか。

HUBLICは中野市民のための施設だと思いますが、中野市外の利用者が半数を占めると聞きました。中野市民の利用率が上がるように対応をお願いします。

4. 財政負担の軽減

湯本市長は子育てしやすい町作りをと訴えて市長になりました。学校給食の次は保育所の民営化とは納得できません。少子化対策は日本全体の課題ですが、県内でも子育てしやすい町作りをしている自治体には若い家族が集まっています。民営化は相反する方針です。公も民も保育士は頑張っています。子供が楽しく豊かに成長できる、親が安心して子育てできる、保育士が安心して働き続けられる環境作りを実現してください。

《意見 18》

1. 中野市の財政を縮小するためにコスト面だけを全面に出しての民間委託については納得

いきません。保育を切り捨てるという意図が明らかです。

民間にしたら国の補助が受けられるので市の出す財源が少なくなるという事でしょうか。市のコスト削減のためだけの民間委託は容認できません。

2. 国、自治体の公的責任の意味についてですが、自治体立、法人立、株式会社などどんな設置主体の保育所であれその中で保育されている子どもたちが公的責任で育てられることを意味しています。その中で行われている保育に対して責任のある監査や指導と同時に、財政の保障をすることが重要になります。

3. 今回の説明会に参加して、市民に広く知らせるということがあまりにも抜け落ちていとおもいます。当該保育所の保護者に1回、一般市民に1回ではあまりにも少ないです。本来は説明会ではなく公聴会が必要だったのではないのでしょうか。今からでも遅くありません。2回、3回の意見を聴く会を開催することが必要ではないのでしょうか。今回明らかになったことの中に一番身近で関わる職員への知らせが無かったことに驚きを隠せませんでした。保育園における職員の立場は何なのでしょう。怒りと悲しみを感しました。

《意見 19》

1. 地域の方々や、お父さんお母さんの願いは、住み慣れた地域の中でより良い保育・子育てができることだと思います。そのために市は努力すべきだと思います。

しかし、今回の素案を見ると、民間にすれば経費の持ちだしが市としては少なくて済む。つまり、民営化が絶対というような考え方が中心に思います。費用対効果の観点からの提案といわざるをえません。

ご承知のように保育の運営主体は自治体であり、自治体が責任を持ってあたるもののだと考えます。然るに今回の素案は、その点を押さえた提案とは到底思えません。

私は、民間であれ、公立であれこの点をしっかり踏まえた提案でなければならないと思います。早くという意見もありますが、拙速な答申は腑に落ちません。

《意見 20》

1. とにかく。民営化には反対します。企業会社が参加すると利益偏重で経営が苦しくなればお手上げ子どもたちは置き去りが想定されてきます。またこの度の案件はまだ市民の皆さんに理解しきれないではないかと感じますお金が無いからといって中野市の大事な宝子どもたちをないがしろにしないでください。

《意見 21》

1. 3歳の子どもを育てるひとり親です。

まず、今回の民営化にあたって、保護者、保育士のみならず市民全体への周知、理解への市の努力が全く足りていないと思います。説明会に参加した保護者、保育士さんからも、疑問が増えた、回答が的を射ていないなどの声を聞きました。中野市全体の大きな方向転換となる問題ですので、対象地域だけでなく、市全体の地域別に説明会を何度か行うべきだと思います。広報や市のHPだけに載せていても、なかなかそこまで見に行く人はいないと思います。(HPも見づらく分かりづらいです。) 市長さんや議員さんがせっかく SNS をされているのであれば、そういう媒体も活用したほうが保護者世代への周知ができるのではないで

しょうか。

意見書の募集にあたって、今までの意見書の提出件数が軒並み数件なことに、市として危機感を感じないのでしょうか。周知が徹底できていると言えるのでしょうか。（もしくは市としてはそのほうが都合が良いのかもしれませんが）市の方針としては、おそらくこのまま民営化を推し進めていくのでしょうか、せめて民営化による具体的なサービス内容や保育士さんの待遇、公募で企業を募った場合の選定方法などの部分は、もっと幅広く市民の意見を聴いていただきたいです。

企業の選定も、市民全体に声を聴き、市民が選ぶべきだと思います。子どもの健やかな成長のための環境と、企業の利益や市の財政問題は一緒にするべきではありません。何よりもまず子どもたちのために、を第一に大切にしてほしいです。子育て世帯の増加無しに、市の繁栄は有り得ないと思います。

よってこの保育所の問題は、子育て世帯だけでなく市民全体に幅広く投げかけ、声を聴くべきです。もし民営化により、『中野市って子育てしにくいよね』『良い保育園が少ないんだよね』という結果になってしまったら、中野市の未来はありません。

民営化による保育の充実を図る努力、では無く『確実に、圧倒的に子育てしやすい中野市』になるよう、具体的な良案を市民とともに進めていただきたいです。また、重ねてになりますが民営化になる前に保護者や保育士、市民の不安を全て払拭できるまで、説明会や対話を繰り返してください。

そして、中野市は保育園のみならず各所の民営化を進めていますが、民営化することにより浮く市の財源は具体的にどこに使われるのでしょうか。そこも詳しく説明すべきですし、その内容により、より市民の理解を得られるのではないのでしょうか。

私はまず保育士さんの給与アップをお願いしたいです。全国的にも低賃金で離職が多い職種になっていますので、中野市独自で保育士の支援策があれば、民営公営問わず『中野市で働きたい』という保育士さんが増えるのではないのでしょうか。保育士さん無しに保育所の環境改善はできませんし、毎日子どもを預けている親として、保育士さんには感謝しかありませんので、経済的理由により離職してしまう保育士さんを1人でも減らすための市としての政策を重ねてお願いします。どうか、もっと市民が参加しやすい市政になりますように。

《意見 22》（匿名）

1. 何も知らせず役所だけの中での話を決定してから市民に知らせる。明治時代でもなく令和の時代になってもこんな事をする中野市は信じられない。何が子供達の未来の為だと。もっと民主的な決め方をしてほしい。